

2019年4月の金融経済概況のポイント

■景気の基調判断

- 2月に北海道胆振東部地震にかかる「地震の影響による下押し圧力」の記述を削除し、「道北地域の景気は、緩やかに持ち直している」としましたが、3月に続き、4月もその判断を継続しました。
- 需要項目ごとの動きでは、3月に公共投資にかかる判断を上方修正し、「減少している」から「下げ止まっている」としましたが、4月は、個別の需要項目の判断において3月からの変更はありません。
- 雇用面では、労働需給がタイトな状況が続いています。金融機関の貸出は3か月振りに前年を上回りました。

■個人消費の動向

- 大型店売上高は、3月も前年を下回りました。今年の土日祝日の休日数は前年より1日多く、気温は平年より高め（旭川市の平均気温で平年比+1.3度）、最高気温が0℃未満の日も平年より少なかった（旭川市の日最高気温0℃未満日数は平年比▲6.6日）にもかかわらず、売上高は奮いませんでした（この間、降水日数は、旭川市の1日1mm以上の降水日数が平年比+1.4日と概ね平年並みです）。
- 3月の新車登録台数は、年度末ということで、登録台数が季節的に多くなる月でしたが、軽自動車、除く軽とも、前年を下回りました。車種別には、大型貨物の好調からトラックほかが前年を上回りましたが、普通乗用車が前年を下回りました。

■観光の動向

- 道北4空港（旭川、稚内、女満別、紋別）の旅客数をみると、3月は4か月連続で、すべての空港で前年を上回り、全体で5か月連続の前年比プラスとなりました。もっとも、旭川空港では1月以降、国内線が前年を上回りつつも、国際線がチャーター便による旅客数が多かった前年を下回るといった構図が続いています。
- ホテル・旅館宿泊客数は、3月、9か月連続で前年を下回りました。この間、当月が「北海道ふっこう割」の終了月となりますが、旭川市内では最後までその効果を受け、市内全体のホテル客室稼働率は前年を上回りました。なお、「北海道ふっこう割」終了後も、GWも含め宿泊予約は順調に進んでいるとの声が聞かれています。
- 各地観光施設の入込みは、3月、層雲峡地区やウトロ温泉で前年を下回りましたが、域内が流水観光の時期にある網走監獄で2月に続き前年を大きく上回ったほか、旭山動物園、利尻・礼文フェリーも前年を上回り、全体でも4か月連続で前年を上回りました。

■公共投資の動向

- 上川、宗谷、オホーツクの3総合振興局における公共工事請負金額は、3月、3総合振興局とも前年を上回り、全体でも前年比2桁の増加となりました。四半期ベースでも19/1～3月期は、17/10～12月期以来、5四半期振りの前年比増加です。もっとも、18年度全体（18/4～19/3月累計）では、17年度に続き、2年連続の前年割れとなりました。

■住宅着工

- 新設住宅着工戸数は、2月、貸家が前年比ほぼ半減したほか、分譲も前年を下回ったものの、持家が前年を8割方上回ったことから、全体でも前年比で2割を超える増加となりました。もっとも、1月に全体で大幅減少となった影響が大きく、1、2月を均したペースは前年同期を下回っています。

■住宅以外の建築物

- 建築物着工床面積（非居住用）は、2月、3総合振興局とも前年を大幅に上回り、3総合振興局合計で前年比8倍の著増となりました。前年比増加は4か月連続です。このため、1、2月を均したペースも前年の4倍弱程度となっています。通例、3月は1、2月より着工床面積が大きくなるほか、18/3月は2割を超える前年比増加となっていたため、現時点で19/1～3月を括って前年比プラスになるかどうかは確定できませんが、18/10～12月期に続いて2期連続の前年比プラスとなる可能性は高いように思えます。

■雇用

- 雇用状況は、引き続きタイトな状況が続いています。2月の有効求人倍率は、北見で高水準であった前年を下回りましたが、旭川、稚内、網走で前年を上回るといった構図が続いています。一方、2月の新規求人数は、北見も含め、4地域すべてで前年を上回っています。

■金融動向

- 上川、宗谷、オホーツクの3総合振興局管下における金融機関貸出残高は、3月、3か月振りに前年を上回りました。

■今後のポイント

- 観光について、旭川市内をはじめ道北地域の宿泊施設より、ふっこう割の制度終了後も宿泊予約が順調に進んでいるとの声も伺っており、とりあえず、制度終了後の大きな落ち込みは免れているように思われます。これを踏まえ、今後、道北地域の経済を見ていく上でのポイントを改めて整理すると、①予想される国土強靱化関連や災害復旧工事等の公共工事について、人手不足の問題を抱える建設業者が受注を増やしていける

かどうか、また、②日本全体で輸出・生産面に海外経済の減速の影響がみられる中での今年度設備投資の推移や、③秋に消費税率引き上げを控える中での消費動向について、注目していきたいと思います。

以 上